

安全衛生・兵庫

つもりをなくそう！

- ◆今年度に入り国有林野事業全体で、4月には早速4件の災害が発生しています。これらの災害は、ほんのちよつとした**不注意・不用意、確認不足、気の緩み**等で災害が発生しています。(何とも情けない災害も見受けられます。)
- ①スノーモービルに保護シートを掛ける際に、ゴムひもが手から外れて跳ね返り、S字フック部分が唇に当たり、上唇を切った。
- ②境界見出標とする立木にペンキを塗るため、ペンキの蓋を鉋で開けようとしたときに鉋が滑って親指を切った。
- ③図面に定規をあて、カッターナイフで面取りをしていたところ、定規に添えていた親指をカッターナイフで切ってしまった。
- ④収穫調査(野帳マン)中、斜面に座ったとき雑灌木の切り株が太もも内側に当たり挫創した。
- ◆何れも「しっかりと握ったつもり」「ケガなんかしないつもり」「しっかりと見てやったつもり」「安全確認やったつもり」だったのでは？
- 知識・技術を習得・トレーニングし、危険予知の能力を高めていくことが大切です。
- ◆「やったつもり」「見たつもり」「止まったつもり」「守ったつもり」etc、安全作業、安全運転のために**つもり**をなくし、一人ひとりが「ケガをしてはつまらない」「後悔をしないために」、そして「かけがえのない命を大切にしよう」という気持ちをしつかり持って毎日を過ごしましょう。(次長)



平成24年度全国安全週間

期間

平成24年7月1日～7日

準備期間

平成24年6月1日～30日

スローガン

「ルールを守る安全職場」

◆国有林野事業スローガン

「安全は 一歩先読む 余裕から」

◆実施事項

安全を最優先する企業文化である安全文化を醸成するため、各事業場では、次の事項を実施する。

- 林業の労働災害防止対策の推進
- ①新規就業者等経験の浅い労働者に対する安全衛生教育の徹底
- ②間伐作業の安全対策の徹底
- ③安全な手順に基づく「かかり木」処理の徹底

雷に注意!

■茨城県などで竜巻が発生したゴールデンウィーク最終日の5月6日。埼玉で落雷に遭い、小学6年生が死亡し、母親も一時意識不明になるなど3人が軽傷を負った報道がありました。



■ケヤキの木(高さ約8メートル)の下で、一緒に雨宿りをしていて、雷に打たれたようです。

■近年の異常気象など、気象状況をしつかり把握し、ピカッと光ったら安全な場所に移動し、類似の事故を防止しましょう。(裏面参照)

「メグスリノキ」ってなあに?

■平成13年に赤西国有林で確認された、兵庫県の絶滅危惧種に指定されているカエデ科の落葉樹「メグスリノキ」。日本にだけ自生する珍しい植物で、青森、秋田の両県を除く本州全域と四国、宮崎、鹿児島、沖縄を除く九州に分布しています。標高700メートル前後の山中に多くみられ、イチヨウなどと同じく雌雄異株(オスの木とメスの木がある)です。大きいものは高さが10メートルにも生育するといわれています。

■名前の由来は、樹皮や葉の煎じ汁で目を洗っていたことから付けられ、別名「千里眼の木」「ミツバハナ」「長者の木」などと呼ばれています。

■歴史は以外に古く、江戸時代以前から江戸時代初期には、京都や播磨(現在の兵庫県)で評判になっていたそうです。司馬遼太郎の「播磨灘物語」には、戦国時代の名将、黒田如水(官兵衛)の祖父である重隆が室町末期にメグスリノキで目薬を作ったという話があります。

■江戸時代までもてはやされたメグスリノキも、明治時代以降は一般には忘れられた存在でしたが、山間の地域では珍重され、メグスリノキをふるまうお寺もあつたようです。

■子供の頃、お寺(一畑薬師等)でふるまわれた記憶、最近では、肝臓に良いとお酒を嗜む私にとって、数年前には、お茶代わりに飲んでいましたが、署に掲げてある新聞記事を読み、すっかり衰えた目のために試してみよう、また、健康のために再び飲んでみようかと思うこの頃です。(I)



この花なあに?

発行 兵庫森林管理署 安全衛生委員会

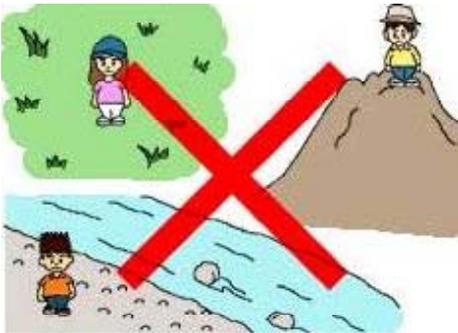


# 雷（落雷）

発達した積乱雲の上と下で電気が蓄積され、一定以上になると空気の絶縁を破って雲と雲の間や雲と地面の間で放電が起こる現象です。雷をもたらす積乱雲は、夏の内陸部や、冬の日本海側で多くみられるほか、寒冷前線の通過時にみられます。ピカッと光ったら野外での活動は中止して避難しましょう。

## ■雷（落雷）における注意事項

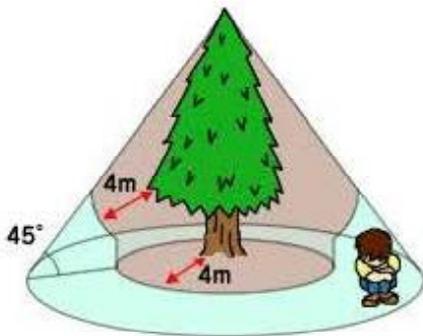
灼熱の夏空が続く毎日、大気の状態が不安定になる午後～夕方の決まった時間帯に夏の雷は発生します。山の頂上付近に雷雲が発生し、稲光（ピカッと光）が見えたり、雷鳴（雷の鳴る音）が聞こえたら、野外で活動は一旦中止して、屋内に避難するようにしましょう。



以下のような場所は、落雷の危険があります。

- 小高いところ：山頂、丘、建物の屋上、屋根
- 広く開けた場所：野原、広場、運動場、河原、プール

身近に雷鳴を聞いたら、一刻も早く避難してください。



野原や広場で避難する場合、どうしても木の下に逃げ込むときは、次のことに注意しましょう。

- ・ 木の幹からは4m以上離れること。
- ・ 張り出している枝や葉からも必ず4m以上離れること。
- ・ 木のてっぺんを見上げる角度（仰角）45度の位置で姿勢を低くすること。



落雷で怖いのは「感電」です。

雷鳴と雷鳴の間に、近くの建物や車など、より安全な場所に避難しましょう。